

「すばやく見つける」「しっかり捕まえる」「強力分解」でいつもお部屋を清潔に

加湿ストリーマ空気清浄機 3機種を新発売

ダイキン工業株式会社は、高感度のホコリセンサーを新たに搭載することにより、PM2.5も「すばやく見つける」、効率良く吸い込み「しっかり捕まえる」、吸い込んだものを「強力分解する」3ステップで空気清浄機の総合力を高めた、加湿ストリーマ空気清浄機3機種を2014年9月9日より発売します。

近年は、PM2.5や黄砂など、空気中の有害物質に対する意識の高まりから、室内の汚れをすばやく除去したいというニーズが増えています。また使用者の約7割^{*1}が、空気の汚れ具合に応じて最適に風量を調整する自動運転で使用していることから、すばやく反応する高感度ホコリセンサーを搭載しました。

また、3方向からの吸い込みと集塵能力が持続する「電気集塵方式」や、ニオイ成分などを抑制^{*2}する「アクティブプラズマイオン」と、空気清浄機内部へ吸い込んで分解・除去^{*3}する「ストリーマ」のダブル方式など、当社独自の清浄機能は継承し、高まる空気清浄機へのニーズにお応えします。

【商品の特長】

1. 「すばやく見つける」PM2.5も検知する高感度ホコリセンサーで反応スピードを約1.6倍向上^{*4} (MCK70R、MCK55R)

花粉や綿ホコリなどの大きな粒子と、PM2.5やハウスダストなどの微小粒子を識別できる高感度ホコリセンサーを搭載し、微小粒子に対する反応スピードを従来比約1.6倍^{*4}に高めました。これにより、お部屋に浮遊している微小粒子をすばやく見つけ、効率よく集塵し、吸い込んで分解することで、自動運転時には運転開始から15分後で、お部屋の空気の汚れ具合を従来比約50%に低減^{*5}し、よりきれいな状態を保ちます。(試験方法：約8畳の部屋で実機から70cmの位置でタバコ1本の粉塵を発生させ、センサー検知スピードと室内粉塵濃度を確認) また、ニオイセンサーと新搭載のホコリセンサーにより、ニオイ、大きな粒子、微小粒子の3種類の物質を識別し、見やすくなったモニターでそれぞれを3段階でお知らせすることでお部屋の汚れ具合をよりわかりやすくしました。

2. 「しっかり捕まえる」高効率の電気集塵方式で高い集塵力を10年間持続 (MCK70R)

左右の側面と前面下部の3方向の吸い込み口から、床上のホコリもしっかり吸引し、赤ちゃんやペットの生活空間も清潔に保ちます。さらに、電気集塵方式で、ホコリや花粉を「プラズマイオン化部」により帯電させ、「高性能フィルター」の繊維に吸着させます。フィルターのみで集塵する方式は、使用開始から10年後に集塵効率が初期の約50%となるのに対し、電気集塵方式では初期の約70%^{*6} (フィルター方式の約1.4倍) の高い集塵効率を持続します。

3. 「強力分解する」ストリーマとアクティブプラズマイオンのダブル方式

2012年から採用し、好評いただいている「ダブル方式」を継続して採用します。空気清浄機内部に効率よく集塵した有害物質を当社独自の機能である「ストリーマ」で強力で分解・除去^{*3}します。また「アクティブプラズマイオン」で空気中に浮遊するニオイ成分などを抑制^{*2}し、ダブル方式で清潔空間を実現します。

【価格・発売時期】

品名	加湿ストリーマ空気清浄機		
品番	MCK70R-W(-T)	MCK55R-W(-T)(-P)(-A)	MCK40R-W
価格	オープン		
発売日	2014年9月9日		

【その他特長】

- 『PM2.5』への対応 本体で0.1~2.5 μ mの粒子を99%除去※7
換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。
 - ・PM2.5とは2.5 μ m以下の微小粒子状物質の総称です。
 - ・この空気清浄機では0.1 μ m未満の微小粒子状物質について、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質すべてを除去できるものではありません。
 - ・32m³(約8畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。
- 清潔加湿を実現する「ストリーマ」照射「水除菌※8&加湿フィルター除菌※9」
- ムダを省いて節電※10する「eco 節電」
- エアコンとの併用で快適さをアップする「きれいサーキュレーター」搭載
- 外出時に空気をクリーンにする「るすばんターボ」搭載 (MCK70Rのみ)
- 10年間交換不要「高性能フィルター」搭載
- 手が入り洗いやすい「大口給水タンク」

【仕様一覧】

	加湿ストリーマ空気清浄機					
	MCK70R-W(-T) (ホワイト/ビターブラウン)		MCK55R-W(-T)(-P)(-A) (ホワイト/ティープラウン、 ミスティック/ミッドナイトブルー)		MCK40R-W (ホワイト)	
最大風量(m ³ /分)	7.0		5.5		4.0	
適用床面積	空気清浄	加湿機能	空気清浄	加湿機能	空気清浄	加湿機能
空気清浄機単独	31畳(51m ²) 8畳を清浄する 目安 9分	—	25畳(41m ²) 8畳を清浄する 目安 11分	—	19畳(31m ²) 8畳を清浄する 目安 15分	—
加湿+空気清浄		[プレハブ]18畳 (29m ²) [木造]11畳 (18m ²)		[プレハブ]14畳 (23m ²) [木造]8.5畳 (14m ²)		[プレハブ]11畳 (18m ²) [木造]7畳 (11m ²)
消費電力	8~73W	12~75W	7~56W	12~58W	7~31W	10~33W
運転音	18~54dB	23~54dB	19~53dB	25~53dB	19~49dB	24~49dB
加湿能力	630ml/時		500ml/時		400ml/時	
電源	50/60Hz 単相 100V(50Hz・60Hz 共通) キャブタイヤコード(床置対応)					
外形寸法 高さ×幅×奥行(mm)	620×395×287			590×374×270		
製品質量(kg)	12.5(水無し)			11(水無し)		

- ※1 当社調べ (使用実態アンケート N=207)
- ※2 (付着臭除去) 試験方法: 約6畳の実験室/タバコのニオイ成分を付着させた布片の脱臭効果を6段階臭気強度表示法にて評価
試験結果: 約1時間で臭気強度1ランク低下(当社調べ) *臭気強度が1ランク低下するとは、90%の臭い低減を意味します。
*脱臭効果は、周囲環境(温度・湿度)、運転時間、臭気、繊維の種類によって異なります。
- ※3 (浮遊カビ菌除去) 試験機関: (財)日本食品分析センター 試験番号: 第12048613001-02 試験方法: 25m³(約6畳)の試験空間にクロカワカビの孢子懸濁液を噴霧し、孢子を浮遊させ、実機を運転。経時的に浮遊孢子を捕集し、生菌数を測定。試験結果: 13分で99%除去。試験機: MCK70R と同等機種(MCK70N)で実施。(浮遊物質の付着有害ガス酸化分解) 試験機関: 暮らしの科学研究所株式会社 試験方法: ガソリンエンジンから排出させた汚染粉塵において、エンジン運転開始から10分後(粉塵濃度60mg/m³になった時点)に空気清浄機を80分運転させ、粉塵を吸着。この空気清浄機を200Lの密閉空間で24時間運転し、ガスの分解効果を測定。試験結果: ストリーマを照射していない場合と比較して、9時間後にガス成分を63%低減。試験番号: LSRL-83023-702 試験機: MCK70R と同等機種(MCK70N)で実施。
- ※4 当社従来機 MCK70P との比較。約8畳の部屋で実機から70cmの位置でタバコ1本の粉塵を発生させ、センサー検知スピード(センサーLEDが橙もしくは赤になるまでの時間)を確認。MCK70P: 50秒 MCK70R: 31秒
- ※5 当社従来機 MCK70P との比較。約8畳の部屋で実機から70cmの位置でタバコ1本の粉塵を発生させ、空気清浄自動運転開始15分後の粉塵濃度を確認。MCK70P: 145cpm MCK70R: 71cpm
- ※6 JEM1467 試験方法に準拠
- ※7 試験方法: 日本電機工業会 自主基準(HD-128) 判定基準: 0.1~2.5 μ mの微小粒子状物質を32m³(約8畳)の密閉空間で99%除去する時間が90分以内であること。32m³(約8畳)の試験空間に換算した値です。
- ※8 (水トレイの除菌) 測定方式: 除菌効果試験 試験機関: (財)日本食品分析センター 試験番号: 第12048582001-01号 試験結果: 24時間で99.99%除去。運転しストリーマを照射し続けた場合、約6ヶ月の抑制効果。試験機: MCK70R 同等機種(MCK70N)
- ※9 (加湿フィルターの除菌) 加湿フィルターで捕獲したものに効果を発揮します。試験装置において同等条件の細菌にストリーマ放電で生じた活性種を照射。商品と同じストリーマ放電部を使用し、距離、位置ともに商品と同等に設定。実使用空間での効果とは異なります。測定方法: 抗菌試験/細菌除去試験 試験機関: (財)日本食品分析センター 試験番号: 第203120769-001号 試験結果: 99.99%除去/カビ除去試験 試験機関: (財)日本食品分析センター 試験番号: 第204041635-001号 試験結果: 99.9%除去
- ※10 eco 節電モード(7.1Wh)と自動運転モード(12.4Wh)の比較 試験機: MCK70R 同等機種(MCK70P) 試験条件: 6畳で1時間運転 運転開始直後にタバコ1本喫煙した場合

【機能詳細】

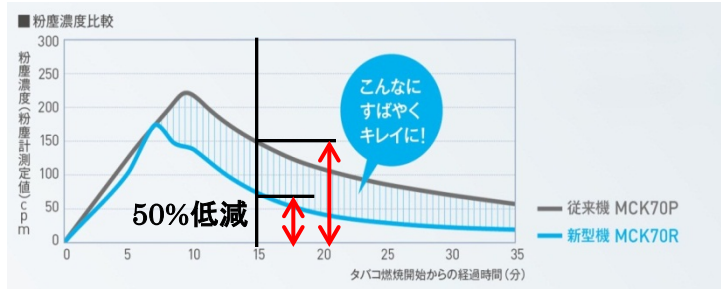
①すばやく見つける

◆高感度なホコリセンサー新搭載で反応速度1.6倍※向上、空気の汚れ具合を約50%※低減

微小粒子への
反応スピード **約1.6倍!**

従来機 MCK70P	50秒
新型 MCK70R	31秒

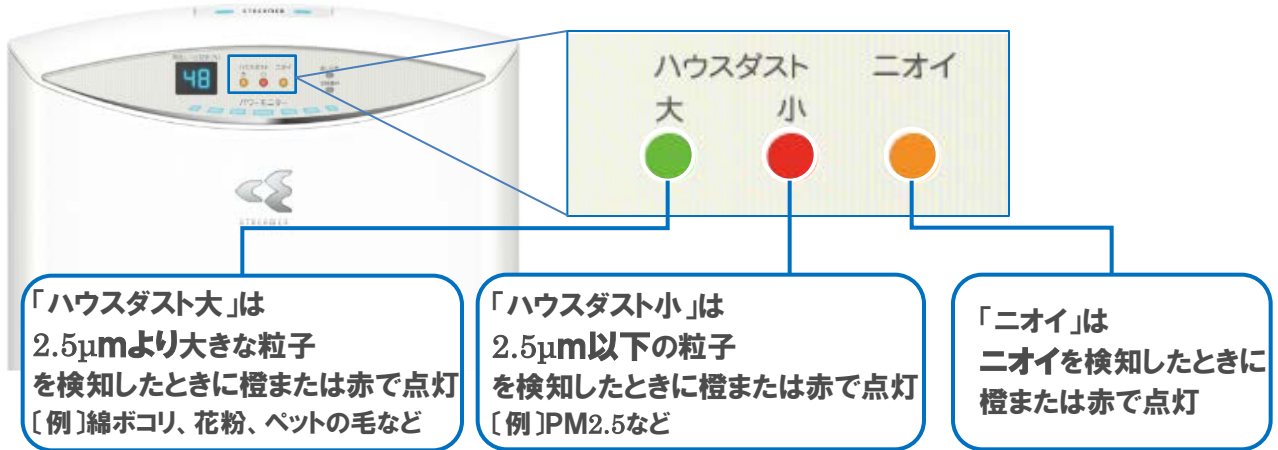
(当社比)



※試験条件: 約8畳の部屋で実機から70cmの位置でタバコ1本の粉塵を発生させ、センサー検知スピードを確認。当社従来品MCK70Pとの比較。反応スピードMCK70P: 50秒 MCK70R: 31秒 自動運転開始15分後の粉塵濃度MCK70P: 145cpm MCK70R: 71cpm

◆見やすくなったモニターで、お部屋の汚れ具合をわかりやすくお知らせ

粒子径を識別して検知するので、ニオイ・大きな粒子・微小粒子を3種類を細やかにお知らせします。

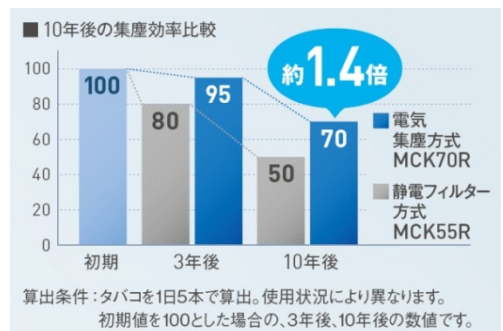
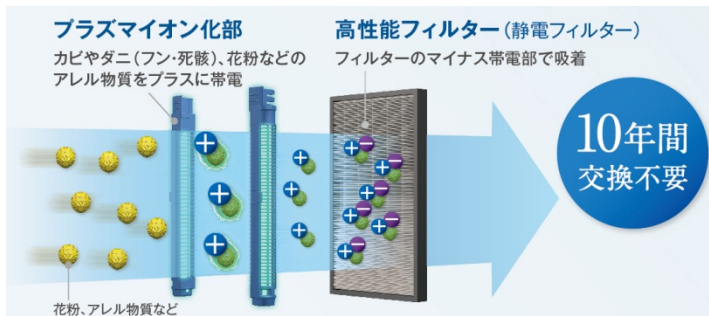


②しっかり捕まえる

◆フィルターが目詰まりしにくく、集塵効率が落ちにくい電気集塵方式

プラスに帯電させたカビやダニ(フン・死骸)、花粉などのアレル物質を、高性能フィルターのマイナス帯電部でしっかり吸着します。

効率よく集塵するから
10年たってもパワフル集塵(当社比)



③吸い込んだものを分解する

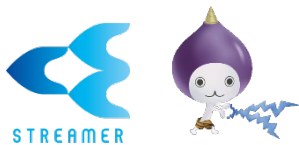
◆フィルターに捕獲した有害物質を分解



試験機関:暮らしの科学研究所株式会社 試験方法:ガソリンエンジンから排出させた汚染粉塵において、エンジン運転開始から10分後(粉塵濃度60mg/m³になった時点)に空気清浄機80分運転させ、粉塵を吸着。この空気清浄機を200Lの密閉空間で24時間運転し、ガスの分解効果を測定。試験結果:ストリーマを照射していない場合と比較して、9時間後にガス成分を63%削減。試験番号:LSRL-83023-702 MCK70Rと同等機種(MCK70N)で実施。

◆ダイキンはストリーマとアクティブプラズマイオンのダブル方式

吸い込んで分解するストリーマ



空中で抑制するアクティブプラズマイオン



<ストリーマとは>

プラズマ放電の一種であるストリーマが、有害物質を分解。その分解力は、およそ100,000℃の熱エネルギーに匹敵します。

